

第4回 西脇市教育振興基本計画検討策定委員会 議事趣旨

平成25年11月5日(火) 9:30~11:30

生涯学習まちづくりセンター 会議室2

1 開会あいさつ

教 育 長

ご多用の中、定刻通りご参集いただき感謝している。

市内で起こったここ1か月のうれしい話を報告したい。11月はイベント月であり、文化・スポーツなど、多くの場面で市民の笑顔に出会えることができた。市展については、西脇の文化度を高めるよい機会であると捉えている。また、学校訪問をしているが、今年中市教委でのテーマの漢字を「顔」としているが、子どもたちのいい顔を引き出そうという先生方の意図が感じられてうれしかった。

その中で、学力向上という大きなテーマを学校訪問前に校長先生方に提示し、予習課題をどう授業のシステムとして稼働しているかを確認している。学力向上80作戦を実施する中で、授業をどう組み立てていくか、無回答率をどのようにして押さえていくかということなどが重要である。その中で、これまでの授業展開とは違う形が見られるようになってきて喜んでいる。ぜひとも市全体のものとしていきたいと考えている。

本日は大きく3つの点をお願いしたいと考えている。1点目は、前回指摘いただいたことをもとに修正している4つのコンセプトが活かされているかどうか、1部から4部まで通して見ていただいてご意見をお伺いしたい。

2点目は、全体構成なりレイアウトなり、全体的な系統性や妥当性が保持されているかどうかご意見をお伺いしたい。

3点目は、どのように周知・広報していくかということ。どのように市民に訴えていけばよいか、具体的に教えていただければと考えている。

限られた時間ではあるが、よろしくお願ひしたい。

2 前回議事録の確認

3 資料説明

事 務 局

4 協 議

- (委 員 長) 後期の計画も大体揃ってきた。今までの意見に加えて、質疑応答を時間をかけてやっていきたい。まず、1部から3部までご意見をいただきたい。
- (委 員 A) 35ページの重点目標の書きぶりが揃っていないので修正いただきたい。
- (委 員 長) 教育長から周知広報について出されたが、前期は概要版を作ったのか。
- (教 育 長) 概要版としては、毎年教育の指針を作成して、学校関係や各団体に配布している。また、各学校ごとに、学校案内等でPRしている。このようなことは例年通り行っていきたい。
評価指標をより具体的に行っていくということについては、家庭や子どもたちにも伝わるように工夫していきたいと思っている。
- (教 育 長) 自己評価シートのサンプルを入れている。著作権処理等を行って、各イベントなどで配布し、周知を図っていきたい。今実施している事業の中に入れていくことによって、意識化を図っていきたい。
- (委 員 B) 3ページの人口の数値の整合性についてどうなったか。また、15ページの「什の掟」に関する所で「夢想」という言葉はいかがなものか。
- (人権教育室) 数値に下線を入れている。これは、数値が確定版ではないということであり、本庁と確認して正確な数値を入れ込んでいく。
- (教 育 長) 前回委員から指摘いただいた通り、ずっと語り継いでいきたいということを意図している。
- (委 員 長) 「夢想」という言葉は、このような文書には合わないので、西脇らしい言葉で置き換えていただきたい。
- (生活文化総合センター) 41ページの内容の修正をしたい。「播磨の文献に多可郡黒田庄村」とあるが、ここは「黒田村」に訂正をいただきたい。
- (委 員 長) 6～7ページのグラフに、全国一のレベルがどのあたりか分かるようにデータとして入れればどうか。また、関連する内容など他の指標のグラフも入れたらどうか。
- (人権教育室) データを入れることは可能である。検討していきたい。他の指標も入れてはどうかというご意見をいただいたが、このページ以外にもグラフを入れることは可能なので、その点も検討していきたい。
- (委 員 C) 5ページでは「子どもの貧困」と表記されているが、42ページでは「児童の貧困」となっている。統一した方がよいのでは。
- (人権教育室) どちらも示していることは同じなので、検討して統一する。

- (委員長) それでは、第4部についてご意見をいただきたい。
- (委員 A) 53・55ページの読書活動の充実についてであるが、教職員からの働きかけだけではなく、児童・生徒会活動等、子どもたちの活動による読書活動の充実を図っていききたい。そのような内容を文言や指標の中に入れていけないか。学校図書館の活用という観点で記述いただきたい。
- (委員長) 児童生徒会活動を活用した図書活動の充実という観点は重要である。
- (委員 A) そのような文言があれば、教職員の意識も高まるのではないかとと思う。まず学校図書室の有効活用が重要である。
- (委員長) 小中学校では、貸出冊数はすぐに分かるようになっているのか。
- (委員 A) まだ電子化されていないので、手作業であるが、貸出冊数の把握はしている。
- (教育長) 全体のコンセプトにも関わってくるので、前向きに検討していききたい。
- (委員 B) 第4部の記載方法であるが、重点目標が3回出てくるのはいかななものか。
- (教育研究室) 分かりやすくするために入れている。
- (委員 B) 読んでいて煩雑かなと感じた。
- (委員長) 携帯電話やスマホの使用率のグラフの出典がないが。
- (青少年センター) 本市調査であるので入っていないが、本センターが実施した調査なので、入れることは可能である。
- (委員 C) 幼稚園でも図書コーナーで読書指導をしているので53ページの表記を「学校園図書室」というふうに記述してほしい。他にも「学校園・家庭が連携した」のように表記してほしい。
- (委員 B) 53ページの教職員の資質向上の件であるが、今後2割の教職員が退職する予定である。再任用等による教職員の活用について、市としてどのような方向にあるのか、そのような視点の記述がほしい。
- (委員長) 再任用に関する市の方針があれば教えてほしい。
- (教育長) 教職員の再任用については、県からも指導を受けている。西脇市として採用するかどうか、活用するのがよいのかどうかという議論もある。そのあたり、調整しなければならないこともある。退職された教員が非常勤で学校に勤めてもらっている事例も増えてきている。大変大きな課題だととらえているので、何らかの記述は必要であると考えているが、課題も多いと捉えている。
- (委員長) 書ける範囲で記述いただきたい。
- (委員 B) 管理職よりも、一般教諭で退職されたか方について検討いただきたい。特別支援教育に関わる教員としても大変有効ではないか。

- (委員長) 小学校も中学校も教職員の年齢構成は同じような感じか。
- (委員 A) 若い先生が大変増えてきている。
- (委員長) 教職員の年齢構成のグラフも入れていく必要があるのではないか。
- (青少年センター) 市内の状況は把握しているので、記載することは可能である。
- (委員 A) OJTを入れることは可能か。職場できっちりと育てていくということが大切である。そういうシステムを学校で構築していくことが重要である。
- (委員長) 記載するとすれば、53ページの⑥あたりである。
- (生活文化総合センター) 95ページの指標の修正をお願いしたい。
- (教育研究室) 事務局の調整会で、細かな数値は調整したい。今議論になっているのは、前期の指標についてであるが、この指標は掲載すべきか。
- (委員長) 後期計画のベースとなるのは前期計画の達成度なので、必要ではないか。
- (教育研究室) 数値を修正して掲載したい。
- (委員 B) 54ページの推進指標であるが、中学校はすでに達成しているのに、目標値は100%にするべきではないか。
- (委員長) 小学校はどうか。
- (委員 A) この数値でいきたいと思う。
- (教育長) 学力向上80作戦とも連携している。
- (委員長) 指標が記述されていないものもあるので、事務局で検討いただきたい。
- (委員 B) 拡大提示機があがっているが、教科書のデジタル化も視野に入れて、市として電子黒板等の各学級1台という目標はできないか。
- (委員長) 拡大提示機とはどのようなものか。
- (学校教育課長) 実物を大きく投影するものである。
- (教育長) 校務支援ソフトが現状0%というのも指標には不適切なので、内容について検討させていただきたい。
- (委員長) 机上に意見集約用紙を配布いただいているので、後日でもかまわないので、意見をいただきたい。
- (教育委員長) 前期と後期のPDCAを記載することにより、「どうしてこの計画を作成するのか」ということが明確になってくるのではないか。西脇市における教育の状況や、今度の姿についてクローズアップして記述するのがよいのではないか。

市民の方が読むというのは、実際問題として少ないであろう。それを、腑に落ちるようにするにはどうすればよいか考えていかなければならない。周知徹底をどう行っていくか。市議員に対しても、働きかけていく必要があるのではないか。そのようなことをすることによって、努力が実るのではないか。教育委員会がやるだけでは

なく、市民や地域の人に働きかける工夫を、システムとして作って
いかなければならないのではないか。

(委 員 長) 多くのチャンネルで伝えていくことが必要である。学校チャンネル、議員チャンネル、コミュニティチャンネルなど。それが、琴線にふれるようなものであればいいと思う。

(教育委員長) 市民の間で話題になるようにならない。

(委 員 長) それでは、協議をここでいったん終了して事務局へお返ししたい。

5 諸連絡・今後の予定について

次回は、1月に開催する必要があるれば案内させていただく。その後、パブリックコメントを実施し、パブリックコメントが終了した時点で開催させていただきたい。

6 閉 会